LIXIL

家電収納ユニット

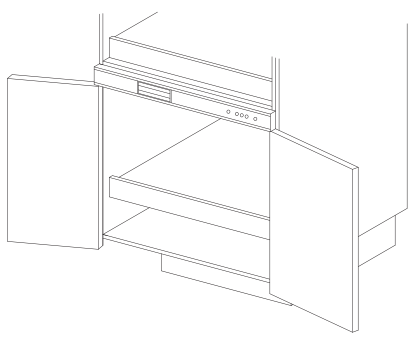
(電気炊飯器･電気ポット･コーヒーメーカー専用収納庫)

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただきまことにありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この取扱説明書やお手入れガイドに書いている注意事項は必ず守ってください。不適切な使用やお手入れにより事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※転居される場合、次に入居される方にこの取扱説明書をお渡しください。



もくじ

ご使用前に

特長 ･･･ 1
各部のなまえ ･･･ 2
安全上のご注意（必ずお守りください）･･･ 3

使い方

準備と確認 ･･･ 7
家電機器の設置 ･･･ 8
蒸気排出ユニットの使い方
●自動標準モード ･･･ 9
●自動長時間モード･･･ 10
●手動モード･･･ 11
安心･安全機能
●自動運転機能･･･ 12
●通電停止（遮断）機能･･･ 13

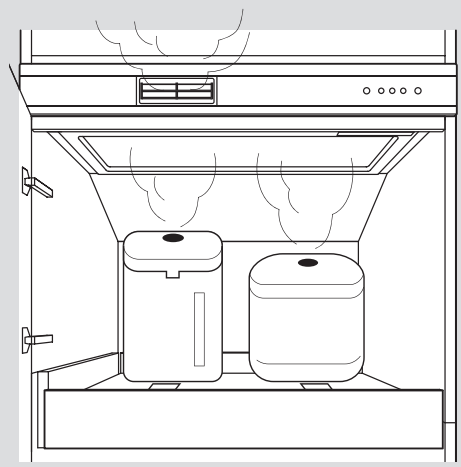
必要なときに

お手入れ･･･ 14
故障かな？と思ったら･･･ 15
アフターサービスについて･･･ 17

特長

炊飯や湯沸しを始めると自動的に蒸気を排出

電気炊飯器や電気ポットなどの通電を感知。
自動的に排気ファンを運転し、扉を閉めていても蒸気を収納庫の外に排出します。



蒸気排出ユニットの運転

自動標準
家電機器の通電を感知し、自動で排気ファンを運転・停止します。
標準的な電気炊飯器や電気ポットなどを使用するときに使います。
9ページ

自動長時間
家電機器の通電を感知し、自動で排気ファンを運転・停止します。
「自動標準」で対応できない炊飯モード（玄米炊飯など）や、炊き上がり後の保温状態でも蒸気を出し続ける電気炊飯器を使用するときに使います。
10ページ

手動
排気ファンを任意で運転します。
「自動標準」「自動長時間」で対応できない炊飯モードを使用するときに使います。
11ページ

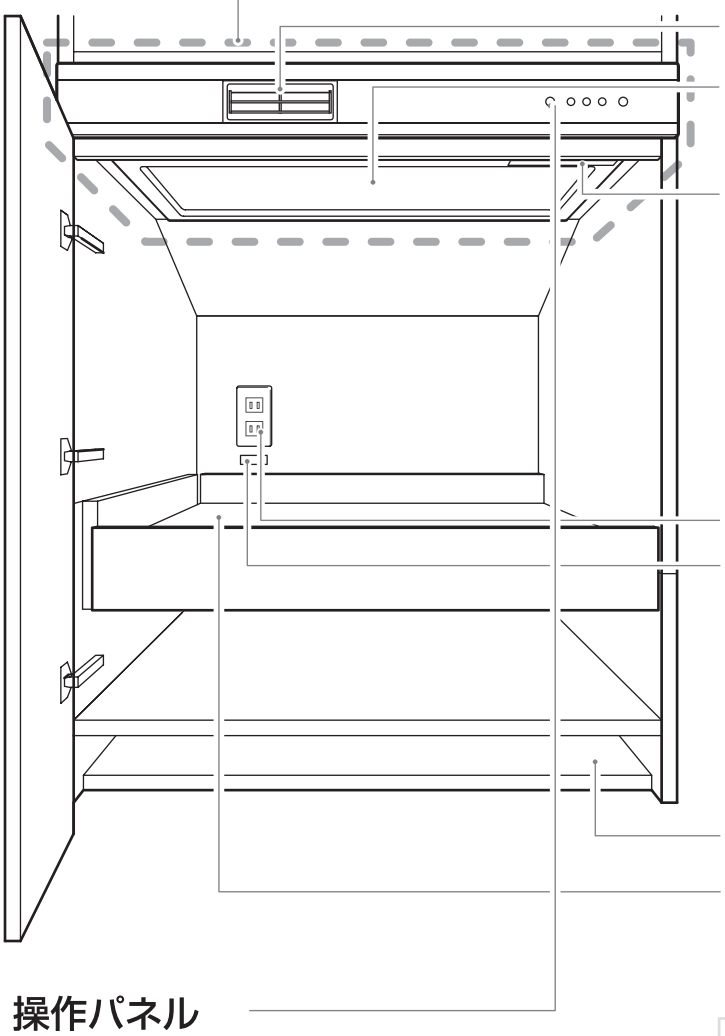
安心・安全機能

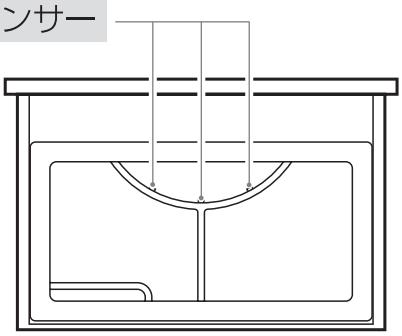
自動運転
庫内で家電機器を使用すると、電源の「入/切」に関係なく自動的に排気ファンが動作します。
12ページ

通電停止
庫内の温度が高温になると収納庫コンセントへの通電を停止（遮断）します。
13ページ

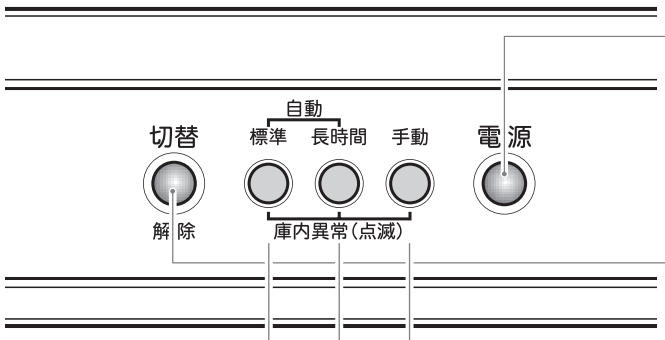
各部のなまえ

本体




内面上部

操作パネル



ボタン

「電源」
蒸気排出ユニットの電源を入/切します。

「切替」
運転モードを切り替えます。

「解除」
「通電停止機能」が働いたときの解除に使います。 →13ページ

運転モード表示ランプ

「自動 標準」
標準的な電気炊飯器や電気ポットなどを使用するときに使います。 9ページ

「手動」
蒸気排出ファンの運転を任意で行うときに使います。「自動」で対応できない炊飯モードをご使用になる場合に使います。 11ページ

「自動 長時間」
「自動標準」で対応できない炊飯モードや、炊き上がり後の保温状態でも蒸気を出し続ける炊飯器を使用するときに使います。（玄米炊飯など） 10ページ

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は状況によって重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全にかんする重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠警告 …… **この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。**

⚠注意 …… **この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。**

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。

この絵表示は触ってはいけない「禁止」の内容です。

この絵表示は分解してはいけない「禁止」の内容です。

この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理･改造を行わないでください。

発火や感電、異常動作をしてけがの恐れがあります。

火のついたローソクや、蚊取り線香、タバコなどの火気や、揮発性の引火物を近づけないでください。

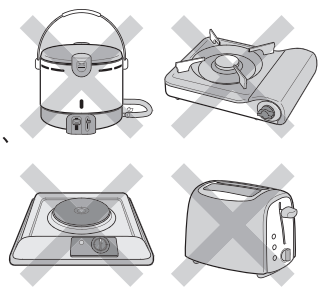
変形や火災の恐れがあります。

⚠ 警告

庫内で、ガス機器など電気以外で調理する機器や、高温になるものは使用しないでください。

ガス機器｛ガス炊飯器、カセットコンロなど

高温になるもの｛電気コンロ、オーブントースター、トースター、魚焼き器、ホットプレート、電子レンジ、オーブンレンジ、卓上型電磁(IH)調理器、圧力鍋など

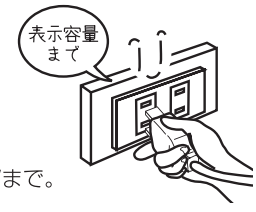


火災の恐れがあります。
熱や蒸気、油煙がこもり、家電機器の破損の原因になります。

●使用できる家電機器
電気炊飯器、電気ポット、コーヒーメーカー のみ
（コーヒーメーカーを使用する際は、家電収納ユニットの扉を開けてください。）

コンセントの表示容量（ワット）を超える家電機器を使わないでください。

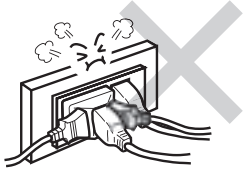
発熱により、火災の原因になります。



●コンセントは、各々1480Wまで。

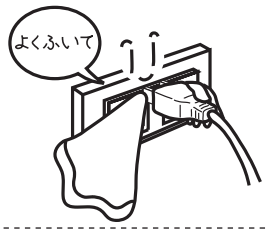
たこ足配線をしないでください。

ブレーカーが働き、蒸気排出ユニット及び家電機器を正常に使用できなくなります。



家電機器の電源プラグの刃および刃の取付面やコンセントに、ゴミやほこりを付着させないでください。
乾いた布などで定期的にふいてください。
また、庫内に燃えやすいものを置かないでください。

火災の原因になることがあります。



電気部品や操作パネル、排気口に水をつけたり、水を掛けたりしないでください。

ショート、感電の恐れがあります。

動かなくなったり異常がある場合は、事故防止のため、ブレーカーを切ってください。

感電や漏電、ショートによる火災の恐れがあります。

スライドテーブルを収納する際は、電源コードをはさみ込まないでください。

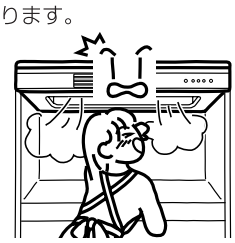
電源コードが損傷し、感電や火災の恐れがあります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

⚠ 警告

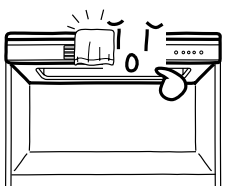
使用中･使用直後は、高温部（蒸気回収口・排気口およびその周辺）に手や顔を近づけたり触ったりしないでください。

ヤケドの恐れがあります。



ふきんを掛けたり物を差し込んだりして、排気口･給気口をふさがないでください。

蒸気が庫内にこもり、故障･漏電･火災の原因になります。



お子様や取り扱いの不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児に触れさせないでください。

ヤケド、感電、ケガの恐れがあります。

⚠ 注意

スライドテーブルに耐荷重以上のものを載せないでください。

ケガの恐れがあります。

●耐荷重は20kgです。

スライドテーブルや開いた扉に、ぶら下がったり、寄りかかったり、上から体重をかけたりしないでください。

スライドテーブルや扉が破損したり､収納物が落下して､ヤケドやケガをする恐れがあります。

スライドテーブルを勢いよく出し入れしないでください。

家電機器の落下、湯こぼれなどが発生し、ヤケドやケガをする恐れがあります。

お手入れの前に必ず蒸気排出ユニットを停止状態にしてください。
運転中の場合は一度入/切ボタンを押して蒸気排出ユニットを停止状態にしてください。

ケガの恐れがあります。

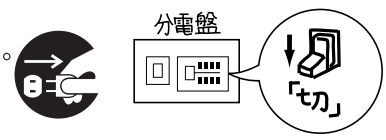
庫内や扉の裏面が結露したり､スライドテーブルがぬれた場合はすぐにふき取ってください。

レールがさびたり、収納庫内を傷める原因になります。

⚠注意

長時間使用しないときは、ブレーカーを切ってください。

絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になることがあります。



家電機器は正しい位置に設置してください。

蒸気がこもり、家電収納ユニットや家電機器を傷める原因になります。
また、蒸気排出ユニットの故障の原因になります。

熱で変形しやすいもの、密閉容器は収納しないでください。

破裂の恐れがあります。

家電機器によってはふたを開いた場合に、蒸気排出ユニット下面にふたが当たる場合があります。

スライドテーブルを引き出して開けるか、ゆっくりとふたを開いてください。

スライドテーブルに熱い鍋などを直接置かないでください。

変形や変色の原因になります。

固いものでスライドテーブルをこすらないでください。

傷が付く恐れがあります。

操作部を鋭利なもので操作しないでください。

スイッチ、パネル部が破損する恐れがあります。

排気口から出る風や蒸気が、ガスコンロや家具などに直接当たらないようにしてください。

コンロの火が立ち消えたり、家具などを傷める原因になります。

●排気口正面での使用を避けるか、ルーバーにより、風向きを調節してください。➡7ページ

家電機器の動作音が聞こえにくい場合は、家電収納の扉を開けて使用してください。

準備と確認

扉・スライドテーブルの取扱い

1 扉を開きます

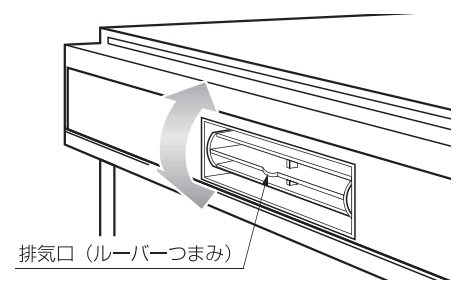
2 スライドテーブルを引き出します

●扉を完全に開いた状態でスライドテーブルを出し入れしてください。
●スライドテーブルは中央を持って出し入れしてください。

排気の風向調節

排気口から出る風や蒸気の影響でガスコンロの火が消えてしまったり、家具などに直接当たる場合は、風向きを調整してください。

●排気口のルーバーつまみに指をかけ、ルーバーを上向き、または下向きにして、調節してください。



家電機器の設置

使用できる家電機器

使用できる家電機器

●電気炊飯器

●電気ポット

●コーヒーメーカー のみ

※コーヒーメーカーを使用する際は、家電収納ユニットの扉を開けてください。

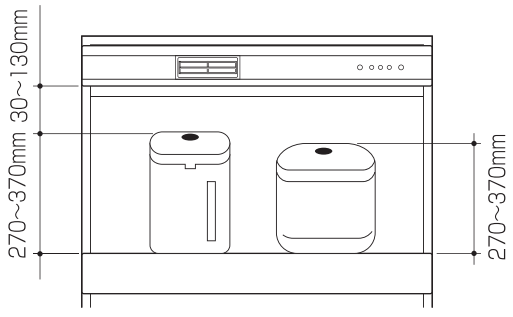
※消費電力が250W以下のコーヒーメーカーは使用できません。

使用できない家電機器

電気以外で調理するもの、使用時に高温になるものは使用できません。

ガス機器 ・ガス炊飯器 ・カセットコンロ など

高温になるもの
・電気コンロ ・オーブントースター
・トースター ・魚焼き器
・ホットプレート ・電子レンジ
・オーブンレンジ ・卓上型電磁(IH)調理器
・圧力鍋 など



収納可能寸法·重量	高さ	370mm以下 蒸気が漏れにくい家電機器高さ：270~370mm
	奥行	365mm 以下
	重量	合計20kg 以下

家電機器の容量の目安	電気炊飯器	電気ポット
	3合~5.5合	2.0L~3.0L

※家電機器の容量は、目安です。必ず高さ·奥行寸法をお確かめください。

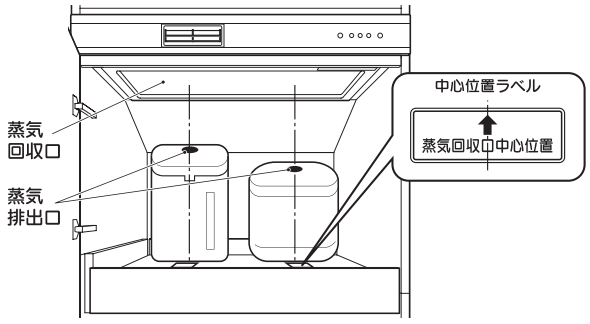
●家電機器の高さが、上記270~370mmの範囲外の場合は、蒸気が回収口からもれ、庫内が結露することがあります。結露が生じた時は布などでふき取ってください。

●使用時の環境、家電機器の種類によっては、上記範囲内であっても庫内に結露が生じることがあります。結露が生じた時は布などでふき取ってください。

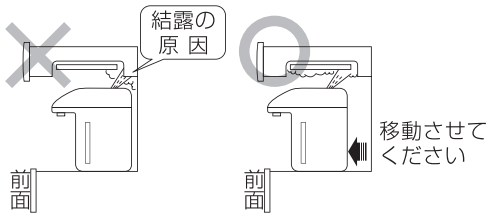
●家電機器の設置等の規制条件については、お使いの家電機器の取扱説明書をご覧になり、その内容の指示に従ってご使用ください。

家電機器の設置

1 家電機器の蒸気排出口を収納庫の「中心位置ラベル」▲印に合わせて設置します



●使用中、蒸気回収口付近で結露したり、水滴が滴下する場合、図のように家電機器の位置を調整してください。



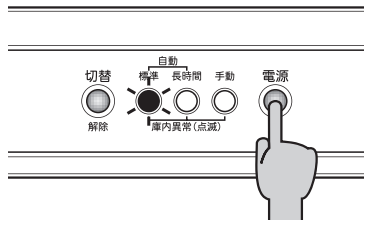
蒸気排出ユニットの使い方

自動標準モード

●炊飯や湯沸しを始めると家電機器の通電を感知し、自動的に蒸気を排出します。
●通常は「自動標準」モードで運転するよう設定されています。
●炊飯の種類によって「自動標準」で対応できないときや、炊き上がり後の保温状態でも蒸気を出し続ける炊飯器を使用する場合以外はこのモードを使います。
（上記に該当する炊飯器の場合は、自動長時間をお使いください。）

1 電源ボタンを押します

●「自動標準」のランプが点灯します。
●炊飯や湯沸しが始まると、自動的に排気ファンを運転し、排気口から蒸気を排出します。



2 炊飯や湯沸しが終わった後(消費電力が約250W以下に落ちたとき)約20分で排気ファンの運転が自動的に停止します

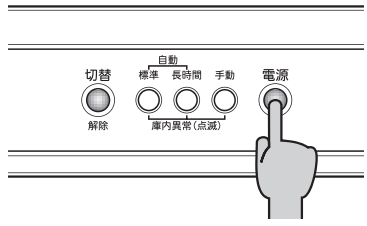
●ご使用になる炊飯器によっては、20分より短くなる場合があります。

3 再沸騰が行われたときは、自動的に排気ファンの運転を再開します

●自動的に排気ファンを運転し排気口からの蒸気排出を再開します。
再沸騰が終わり、約20分で自動的に停止します。

4 電気炊飯器・電気ポットなどを使用しないときは、電源ボタンを押してください。

●ランプが消灯し、蒸気排出ユニットの電源が切れます。



お知らせ

●電源「入」操作をしなくても、自動的に排気ファンが動作する場合があります。➡ 12ページ
●炊飯や湯沸かしが終了して約20分たっても、排気ファンが停止しない場合があります。➡ 12ページ

お願い

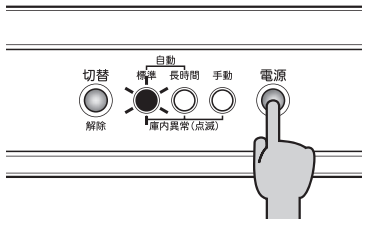
●初回使用時や、家電収納ユニット内で使用したことのない家電機器を使用する際は、排気口から蒸気を排出しているか確認してください。

自動長時間モード

●炊飯や湯沸しを始めると家電機器の通電を感知し、自動的に蒸気を排出します。
●炊飯･湯沸しが終わった後、約2時間で排気ファンの運転を自動的に停止します。
●炊飯の種類によって「自動標準」で対応できないときや、炊き上がり後の保温状態でも蒸気を出し続ける炊飯器を使用する場合には､「自動長時間」モードを選択してください。

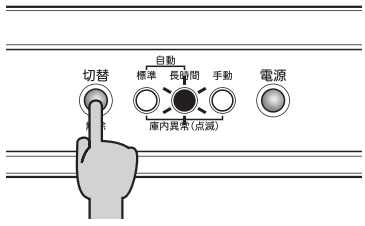
1 電源ボタンを押します

●「自動標準」のランプが点灯します。



2 切替ボタンを1回押します。

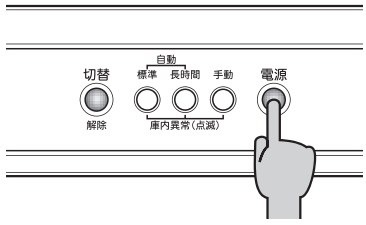
●「自動長時間」のランプに切り替わります。
●炊飯や湯沸しが始まると、自動的に排気口から蒸気を排出します。



3 炊飯や湯沸しが終わった後(消費電力が約250W以下に落ちたとき)約2時間で蒸気排出ユニットの運転が自動的に止まります

4 炊飯器・電気ポットなどを使わないときは、電源キーを押してください。

●ランプが消灯し、蒸気排出ユニットの電源が切れます。



お知らせ

●電源「入」操作をしなくても、自動的に排気ファンが動作する場合があります。➡ 12ページ
●炊飯や湯沸かしが終了して約2時間たっても、排気ファンが停止しない場合があります。➡ 12ページ

お願い

●初回使用時や、家電収納ユニット内で使用したことのない家電機器を使用する際は、排気口から蒸気を排出しているか確認してください。

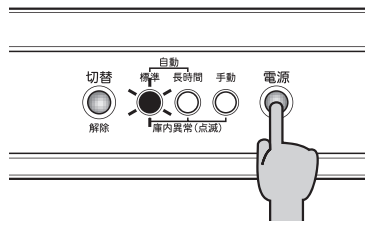
蒸気排出ユニットの使い方

手動モード

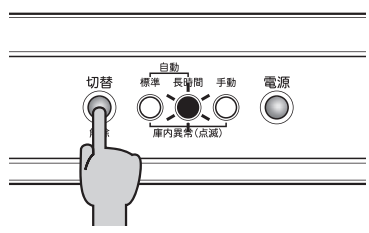
●電気ポットの再沸騰時など、すぐに蒸気が出始める場合や、炊飯・湯沸しの時にも電力が250W以下の電気炊飯器や電気ポットなどを使用する場合にお使いください。
●排気ファンの運転を任意に行うことができます。

1 電源ボタンを押します

●「自動標準」のランプが点灯します。

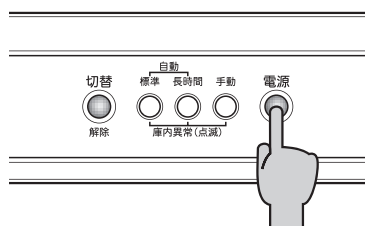


2 切替ボタンを2回押します。



3 運転を止めるときは、電源ボタンを押します

●ランプが消灯し、蒸気排出ユニットの電源が切れ、運転が止まります。
●「切」操作をしない場合でも、安全のため約3時間で運転が止まります。



お知らせ

●電源「切」操作をしても、排気ファンが停止しない場合があります。➡ 12ページ

お願い

●排気口から蒸気を排出しているか確認してください。

⚠ 注意

炊飯や湯沸しなど蒸気が発生する場合は、必ず排気ファンの運転を行ってください。
蒸気がこもり、収納庫を傷める原因になります。
蒸気排出ユニットの故障の原因になります。

安心・安全機能

自動運転機能

安全のため、庫内で家電機器を使用すると、電源の「入/切」に関係なく自動的に排気ファンが動作することがあります。

		自動運転が開始される条件	
		消費電力	庫内温度
		約250W以上で 約30秒以上続いた	約50℃以上
電源	切	自動標準モード にて排気ファンが動作	自動標準モード にて排気ファンが動作
電源	入	通常運転	選択されているモード にて排気ファンが動作

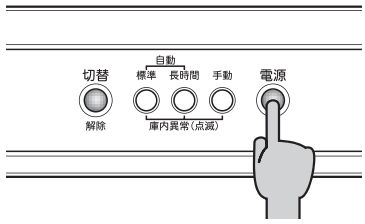
運転の止め方

1 **使用中の家電機器を「OFF」にします**
あるいは
家電収納ユニットの扉を開け、庫内の温度を下げます

●上記「自動運転が開始される条件」以上であるときは、
蒸気排出ユニットの「切」操作を受け付けません。

2 **電源ボタンを押し、運転を止めます**

●上記「自動運転が開始される条件」以下になると、
「自動標準」のときは約20分後
「自動長時間」のときは約2時間後に、
自動的に停止します。



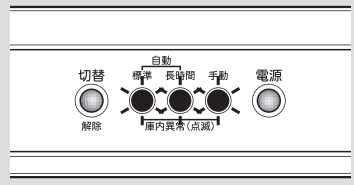
お知らせ 次のような例でも「自動運転」機能が働きます。

●夏場や陽が当たり、収納庫内が50℃以上となったとき。

安心・安全機能

通電停止（遮断）機能

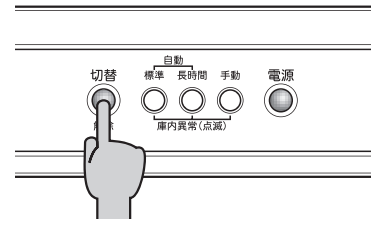
安全のため、収納庫内の温度が高温になると、コンセントへの通電を停止（遮断）します。

通電停止（遮断）の条件		
	庫内温度	
	約60℃以上で 約1分半続いた	約70℃以上
コンセントへの通電	通電停止（遮断）	
表示		
警告ブザー	ピー、ピー、ピー（1秒間隔）	

「解除」のしかた

1 警告ブザーの解除

①収納庫内の安全を確認してください。
②「解除」ボタンを約3秒間押してください。
　警告ブザーが止まります。



2 通電停止（遮断）の解除

①収納庫内の安全を確認してください。
②使用できる家電機器以外のものをご使用の場合、庫内から取り出してください。➡8ページ
③収納庫の扉を開け、庫内の温度を下げてください。
④収納庫内の温度が約45℃以下になると、「解除」ボタンを約3秒間押すことで
　通電停止（遮断）が解除されます。

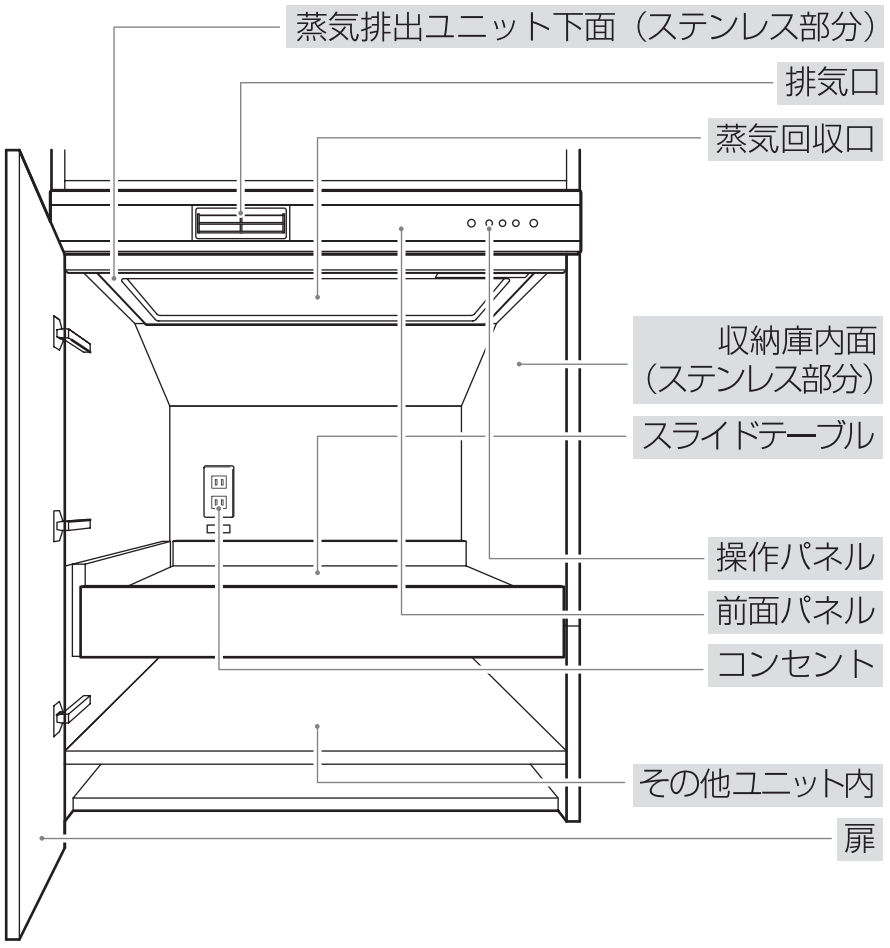
お知らせ 次のような例でも「通電停止」機能が働くことがあります。

●家電機器の蒸気排出口が温度センサーの真下にあると、蒸気が直接当たり安全機能が働きやすくなります。
→家電機器の設置位置を調節してください。
　スライドテーブルは、手前いっぱいまで引き出すか、奥へ収納した状態で家電機器を運転してください。

●家電機器の運転モードで通常の「炊飯」「湯沸かし」以外の「お手入れ」などの特殊運転モードでは、通常より多量の蒸気が発生し、安全機能が働きやすくなります。
→収納庫の扉を開け、スライドテーブルを引き出してお使いください。

お手入れ

お手入れの前に必ず本体を停止状態にしてください
けがの恐れがあります。



よく絞った柔らかい布で水ぶきしてください。

ステンレス部分は特に、
すぐにからぶきしてください。

洗剤を使う場合

①薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れをふき取ります。
②水ぶきで洗剤をふき取ります。
③すぐに乾いた布でからぶきします。

柔らかい布でふき取ってください。

お手入れガイドを参照してください

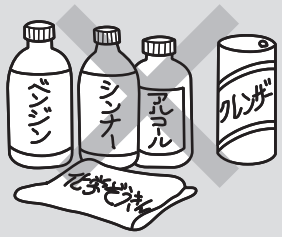
●ステンレスは、汚れが長時間付着した状態で放置しないでください。
さび発生の原因になります。

●蒸気排出ユニットのご使用後、蒸気回収口およびその周辺のぬれが多い場合は、
柔らかい布でふき取ってください。

使用できないお手入れ用品

・住宅用合成洗剤
・住宅家具用合成洗剤
・カビとり用洗剤
・クレンザー
・ベンジン
・シンナー
・アルコール
・化学ぞうきん
・たわし

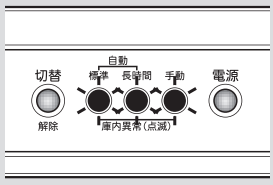
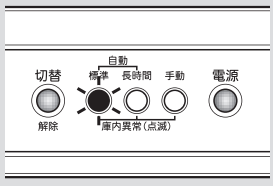
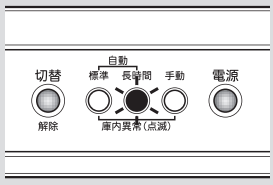
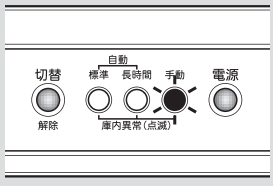
など



変形・割れ・ヒビなどが生じて、事故が発生する原因となります。
変色や傷の原因となります。

故障かな？と思ったら

ランプが点滅している場合

操作パネルの表示ランプ		警告ブザー音	原因	処置
ランプの点灯場所	ランプの点灯パターン			
	全ランプ同時点滅 （0.2秒間隔）	ピー、 ピー、 ピー、 （1秒間隔）	庫内異常	P1参照
	点滅 （0.5秒間隔）	なし	温度センサー異常 （断線）	お使いになるのをやめ、「㈱INAXメンテナンス」へご連絡ください。 P18
	点滅 （1秒間隔）	なし	温度センサー異常 （ショート）	
				

ランプは点滅していないが異常を感じる場合

症　状	考えられる原因	処　置	参照
電源が入らない	電気炊飯器・電気ポットなどの電源プラグを差し込んでいない。	電気電源プラグをコンセントに差し込みます。	－
	屋内配線ブレーカーが「入」になっていない。	屋内配線ブレーカーを「入」にします。	－
屋内配線ブレーカーがおちる 家電収納ユニット内のコンセントに電気が通っていない	コンセントにたこ足配線をしている。	たこ足配線をやめます。	P4
	コンセントに定格ラベルの表示容量以上の電力を使用している。	コンセントの表示容量を越える家電機器を使用しない。（各々1480Wまで）	P4
	電気配線が不適切。 （2回路必要な電気配線が1回しか引かれていない。）	繰り返し屋内配線ブレーカーがおちる場合は、電気工事店に配線工事の点検を依頼します。	－
蒸気排出ユニットの電源が「切」の時でも排気ファンが運転する	自動運転機能が働いた。	異常ではありません。	P12

ランプは点滅していないが異常を感じる場合（つづき）

症　状	考えられる原因	処　置	参照
蒸気がこもる、結露する	電気炊飯器・電気ポットなどが正しい位置に設置されていない。	電気炊飯器・電気ポットなどを正しい位置に設置します。	P8
	排気口・給気口がふさがれている。	排気口・給気口をふさいでいるものを取り除きます。	—
	家電機器の寸法が指定範囲から外れている。	指定寸法の家電機器をお使いください。	P8
	使用時の環境条件や家電機器の種類、その運転モードによっては一時的に蒸気もれが生じることがあります。	異常ではありません。	—
	家電収納ユニットの扉を閉めて、コーヒーメーカーを使用している。	コーヒーメーカーを使用する際は、家電収納ユニットの扉を開けてください。	P11
	ファン停止後に収納庫内に結露が見られる。	「手動」モードにてファンを動作させます。 「手動」モードにしてもファンが動作しない場合は、お使いになるのをやめ、「㈱INAXメンテナンス」へご連絡ください。	P11・P18
	消費電力が250W未満の家電機器を使用し、蒸気排出ユニットを「自動」モードに設定している。		
排気ファンが家電機器の保温中に運転する	電気炊飯器・電気ポットの種類によっては保温中に約250W以上の電流が発生し、その電流を感知して排気ファンが動作することがあります。	異常ではありません。 保温中でも蒸気の発生が考えられるため、排気ファンが動作します。	—
	炊飯・湯沸かしが終わったあと、一定時間は排気ファンが動作します。 自動標準モード　：約20分 自動長時間モード：約2時間 手動モード　　：手動で停止	—	P9〜P11
指定の家電機器でも安全機能が働き通電が遮断される	家電機器からの放熱量が多く、機器表面の温度が高い。	扉を開けるか、スライドテーブルを引き出して家電機器を運転します。	P13
	庫内温度が高い。	扉を開けるか、スライドテーブルを引き出して家電機器を運転します。もしくは、製品周囲の風通しを良くするなど、庫内温度を下げてください。	P13
家電機器の設定表示が変わっている	通電停止（遮断）機能が働き、コンセントへの通電が遮断された。	—	P13
排気口からの風でコンロの炎が立ち消えたり、揺らいだりする	排気口のルーバーが適正な角度になっていない。	排気口のルーバーを適正な角度に調整します。	P7

上記処置で現象が直らないときは、お求めの取扱店または（株）INAXメンテナンス（18ページ参照）へお問い合わせしてください。

アフターサービスについて

修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（15ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お買い求めの取扱店または ㈱INAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
●異常を感じたとき

上記の場合をそのままにしておくと思わぬ事故につながる恐れがあります。必ずご相談ください。

⚠ 注意

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理･改造は行わないでください。
※思わぬ事故が発生し、ケガをすることがあります。

保証書をご覧ください

キッチン本体の取扱説明書に付属の保証書をご覧ください。
（蒸気排出ユニットについては蒸気排出ユニットの保証書をご覧ください。）
保証書をご覧になって保障期間中か、保障期間を経過しているかを確認してください。
※保証書は必ず記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
保障期間中でも、以下の内容によって生じた異常等によっては保証の対象となりませんのでご注意ください。

●取扱説明書に従わない使用上の誤りによる損傷
●取付後の改造、移動、その他変更により生じたもの
●火災、地震、その他天災により生じたもの

修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえ、なお異常があるときは
お買い求めの取扱店または（株）INAXメンテナンスに修理を依頼してください。

保障期間中の修理

修理に関しては必ず保証書をご提示ください。
保証期間内は補償の規定に従って修理させていただきます。

保障期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料＋出張料＋部品代です。

連絡していただきたい内容

●おなまえ・おところ・電話番号
●商品名・品番
●取付年月日（保証書に表示）
●故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←「故障かな？と思ったら」（15ページ参照）
●ご訪問希望日

お客様からご連絡頂く氏名や住所等の個人情報は、商品の点検修理にのみ利用し、管理いたします。なお、これらの業務に携わる協力会社へもお客様の個人情報を開示することがありますが、弊社と同等の管理を致します。

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの取扱店、または（株）INAXメンテナンスに連絡してください。

㈱INAXメンテナンス
365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11 FAX 0120-1794-56
受付時間　9：00～20：00

●ホームページアドレス **http://www.i-mate.co.jp**

部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。
（蒸気排出ユニットに関しては、製造打切り後5年です。）
この保有期間を修理対応可能な期間とさせていただきます。

※補修性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
※一部の部品（たとえば、ユニットの扉など）につきましては、同一部品で修理できない場合がありますので、ご了承願います。

定期点検のオススメ（有料）

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをおすすめします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより3年たったもの

定期点検については、お求めの取扱店または、(株)INAXメンテナンスまでご相談ください。

※点検料金の内訳は、点検料（技術料）＋出張料＋部品代（交換した場合）です。

株式会社INAX

●ショールームのご案内

札幌―― 011-330-1710　旭川――0166-39-1794　帯広――0155-58-1710　仙台――022-265-1710
青森―― 017-774-2345　盛岡――019-659-1714　秋田――018-826-1791　山形――023-647-1797
郡山―― 024-922-7503　新宿――03-6741-1794　足立――03-6741-1754　立川――042-538-1934
甲府―― 055-237-1763　横浜――045-662-1401　藤沢――0466-89-1794　相模原―042-716-1794
千葉―― 043-331-1717　柏――― 04-7134-1794　水戸――029-304-1710　さいたま―048-668-1794
川越―― 049-238-7560　宇都宮―028-634-1794　高崎――027-364-1794　新潟――025-280-9701
長岡―― 0258-28-1724　長野――026-252-6200　松本――0263-85-2500　名古屋―052-201-1715
岡崎―― 0564-58-1794　豊橋――0532-69-1720　岐阜――058-276-1711　津――― 059-226-1715
静岡―― 054-238-1773　浜松――053-411-1794　金沢――076-262-1701　富山――076-421-1734
福井―― 0776-57-1785　大阪――06-6733-1794　箕面――072-725-1741　堺――― 072-344-1794
奈良―― 0743-57-1719　京都――075-231-1716　滋賀――077-565-1794　神戸――078-361-6680
姫路―― 079-225-1760　広島――082-850-3919　福山――084-920-1794　岡山――086-242-1794
山口―― 083-920-1710　高松――087-815-3388　徳島――088-664-5503　松山――089-931-5730
高知―― 088-878-1790　福岡――092-471-1700　長崎――0957-27-2710　熊本――096-334-1894
大分―― 097-568-3417　宮崎――0985-23-1794　鹿児島―099-263-1882

INAX GINZA―03-5250-6560

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合せは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00　FAX 0120-1794-30

受付時間　平日　　9:00～18:00
　　土日・祝日10:00～18:00（夏季、年末年始の休みは除く）

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。
　下記番号をご利用ください。
　TEL　0562-40-4050
　FAX　0562-40-4053

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの取扱店または
（株）INAXメンテナンス 365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11　FAX 0120-1794-56

受付時間　9:00～20:00

●ホームページアドレス
http://www.i-mate.co.jp

INAXインターネット・ホームページ・アドレス　http://www.inax.co.jp/

GKU-0028（09040）